

Pick Up News

夏休みも終了し、後期がスタートしました。例年、学年別で、学内で行っているオリエンテーションは仙台国際センター大ホールを会場にして、全建築学科学生を対象に実施しました。建築学科には、学部・大学院あわせて580名を超える学生が学んでいます。学年を超えて一同に会する機会は普通はありません。2年前の建築学科50周年の際、同様に実施して以来となります。同じ時代、同じ空間で学ぶもの同士、これだけの人数がいるということ実感してもらいたいということと、将来かならず仕事のなかで接点が生まれる工大建築学科先輩・後輩のつながり(目に見えない糸)を感じてもらいたいという思いで実施しました。また、大ホールに身を置いて過ごす特別な雰囲気と時間の経験、普段とは異なる刺激を感じてもらった意図もありました。さあ、後期に始まりです！充実した学びの秋として下さい。

1. 大学院を志した理由 2. 大学院進学を決めた時期 3. 大学院で学んでの感想 4. 学部生へのメッセージ

1. 就職先の幅を広げるため、在学中の二級建築士取得のため
2. 高校1年生くらい
3. より専門的な知識を学ぶことができ、毎日充実しています
4. 少しでも大学院に興味があるのならばよく調べて、早めに準備しておくとうれいかなと思います
(石井研：鈴木吉南)

1. 将来、建築業界での自分が描く理想像を明確にしたいと思ったからです。
2. 学部4年の2月頃
3. 学部の時に比べて圧倒的に自分の時間を有意義に使えと思っています。その時間は、研究に使ったり、資格の勉強に使ったり、人それぞれだと思います。しかし、怠惰な生活を送る人にはあまり向いていないかと思いました。建築について深く学びたい方はオススメです。
4. 大学院に進学することは新たな場所に踏み込めるチャンスであると思います。2年間また学生を延長するという表現ではなく、目の前にあるチャンスを利用して、将来の自分の選択肢を広げると考えるとよいと思います。
(福屋研：一條武寛)

1. 建築設計の知識と技術をレベルアップさせるため
2. 学部入学当初から
3. 学部時代より自分の興味のあることに割ける時間が多くなり、資格取得のための勉強や研究に没頭できる
4. 人より2年間多く勉強するのめりかかな...と思ったら大学院へ!!
(竹内研：佐藤真太郎)

1. 自分の弱い所を大学院で高めて、少しでも自信をつけたいと思った。また就職の幅を広げたいと思ったから
2. 学部3年の2月
3. 講義の中で足を運んで建物を見ることなどあり、座学だけではないため勉強になる。また、求められるものの基準が高くなり、より頑張らなければならぬと思った。
4. 私は3年冬まで進学を視野に入れていませんでしたが、もし進路がまだふわふわしている場合は、就職・進学の方について調べ、自分が何をしたいか、どうしたいかという考えを持っておいの方が良いと思います。早いに越したことはないです。
(石井研：石岡郷梨)

1. 研究を進める上で多くの情報を調べるうちに、もう少し長く専門的なことを学びたいと考えるようになったのが一つです。院生の先輩に大学院での講義や生活について聞いた際、学部時代では経験できないようなことも多く学ぶことができることを知り、大学院を志しました。
2. 学部4年へ進学する直前でした。
3. より講義に参加する機会が増えたと感じます。ここでいう参加とは出席のことではなく、自らが講義内でプレゼンを行ったり考察を行ない発表をしたりすることです。また、見学など校外に足を運ぶ機会も多く、自分の目で直で確認することができる機会も増えたと感じました。
4. もし大学院に興味があるならば、ぜひ身近な先輩や教授に気になることを質問してみましよう。
(許研：堀内綱斗)

1. 卒業設計の際に他分野と領域を横断しつつ建築の領域を拡張することに興味ができ、深く大学院で研究したいと思い大学院進学を選択しました。
2. 学部3年の春です。
3. 学部生の頃よりも個人の時間が多くなります。また学科からの補助も充実するため学部生の頃よりも有意義に自分の興味や研究に対して時間を割くことができている。今はパラメトリックデザインやデジタルファブリケーションについて勉強しています。
4. 自分の興味や研究に対して多くの時間をあてることができ、より深く研究したい人は是非検討してみてください。早いうちに家族や担当の教員に相談することを強くお勧めします。
(福屋研：堀金照平)



9月18日、平成30年度東北工業大学優秀者表彰式が行われました。昨年度の成績・活動の優秀者に賞状が授与されました。建築学科からは成績優秀者15名、課外活動功績3名、大学院優秀者3名が受賞となりました。おめでとうございます！
【成績優秀者賞】4年：橋井美保、後藤瑛、高橋雄平、高階翔太、3年：内沢千尋、高橋大都、高橋響、三浦真梨、2年：今野琢音、鈴木麻裕、立花莉乃、中野亜美、渡邊秋音、岩淵明志人、原悠斗【課外活動功績】宅建合格 4年：米田一、小野寺紗希、陸上競技 2年：兼子太希【大学院】伊藤瑠都、車塚亜美、喬文琪 (敬称略)



9月18日、後期スタートのオリエンテーションは国際センターにて学科の全学生560名が集い実施。あわせて元本学科教員でもある槻橋修先生による講演会「プレイスメイキング：場を受け継ぎ、育てる」も開催しました。青葉山公園プロボ案などの話題を織り交せてご講演いただきました。

Pick Up Lab. 石井研究室

は建築計画の研究室で、福祉施設やその環境の研究を主としています。普段は施設の見学や研究室で実施する調査に参加したりしていますが、比較的自由な時間多く、一人一人の興味のある内容をことごとく学ぶことができる環境があります。大学院生も多く、3年生から修士2年生までが在籍、横だけでなく縦のつながりがあるのが特徴です。これはとても貴重で、授業や研究について学年を超えてディスカッションできるメリットがあります。メンバーは仲が良く、毎年みんなでゼミ旅行に行ったり定期的に飲み会を開催するなど、アットホームな雰囲気の研究室です！(M1年茂木公佳)



八木山の高齢者施設見学にて。



石巻の災害公営住宅調査にて。



3年千葉 百華さん
弘前工業高校 出身

Pick Up Student

実際に建築を学んでみると、今まで知らなかったこと、関わる事がなかった人に出会い、話を聞いたり、自分にとってとてもいい刺激になりました。今も建築についてもっと深く学びたいと感じる機会がたくさんあり、充実しています。課外活動は、MSKWG(民家再生プロジェクト)に所属し、重要文化財の民家で実測調査、模型の製作、まちあるきや古民家でのイベントなど、様々な活動に参加しています。大学で学んでいることが、実際に建物を見ることで改めて理解できたり、より深く知ることができて面白いです。将来は、ワクワクするような建築の仕事をしたいです。企画を立ち上げや、図面を描いたりできる仕事に就くのが目標です。



2年今野 琢音くん
仙台南高校 出身

Pick Up Student

この一年半で私は、これまでと違った方向に視野を向けることができました。高校まで部活動一筋でとても視野の狭かった私は、これまで縁のなかったアルバイトや卒業設計日本一決定戦を主催する仙台建築都市学生会議に参加するなど、少しずつ新しいことに挑戦していきました。それと並行して大学の授業も徐々に専門科目が増えることで、毎日建築に関する知識が更新され、日々新しい発見がとても楽しいです。これからは、少しでも多くのレクチャーやプロジェクトに携わり、見聞を広められるようにしていきたいです。そして、学んだこと、感じたことを建築に表現できるようにしていけたらと考えています。